

氏名	吉川昌樹
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3955 号
学位授与の日付	平成 21 年 6 月 30 日
学位授与の要件	医歯学総合研究科生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目 Effects of Combined Treatment with Angiotensin II Type 1 Receptor Blocker and Statin on Stent Restenosis  
(ステント再狭窄におけるアンジオテンシン II 1 型受容体拮抗薬とスタチンの併用療法における効果)

論文審査委員 教授 佐野 俊二 教授 氏家 良人 准教授 五藤 恵次

#### 学位論文内容の要旨

アンジオテンシン・レセプター・ブロッカー (ARB)、スタチンは単独で、狭心症患者における冠動脈形成術 (ステント留置) 後の再狭窄の抑制に有効とされている。しかし併用療法の効果については十分検討されていない。よって我々は ARB、スタチン併用が単独投与と比べて、人冠動脈平滑筋細胞における細胞増殖、遊走、活性酸素の産生の抑制効果を有するか、ステント留置後の再狭窄抑制効果を有するか検討した。人冠動脈平滑筋細胞において、PDGF 刺激による、遊走、活性酸素の産生は CV11974 (カンデサルタン)、シンバスタチン併用群において有意に抑制された。また狭心症 330 症例におけるステント留置後 6 ヶ月目の冠動脈造影検査において、併用群では有意に再狭窄は抑制された。ARB、スタチン併用療法は、ステント留置後の再狭窄抑制に有効と考えられる。

#### 論文審査結果の要旨

アンジオテンシン・レセプター・ブロッカー (ARB)、スタチンは狭心症患者における冠動脈形成術 (ステント留置) 後の再狭窄の抑制に有効とされている。

今回、著書らは、ARB とスタチンの併用が単独投与に比べて、ステント留置後の再狭窄抑制効果を有するかを検討した。本論文は、ARB、スタチン併用療法はステント留置後の再狭窄抑制に有効であることをはじめて証明した価値ある論文であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。